

江南Y E G広報誌

ONE UP!

05
2019

事業報告：4月例会（交流結束委員会）

2019年度スタート！バーベキューで親睦を深めよう！！

県連出向者報告

大野智也（広報委員会）

エッセイ：日々を綴る

磯村聡将、高濱歩、阿部栄司



事業報告：4月例会

4月例会

日時：2019年4月26日 19:00～

場所：伊木山ガーデン

担当：総務・渉外委員会

2019年度江南商工会議所青年部の第1回目となる例会に、メンバー同士の結束と親睦を図ることを目的としてバーベキュー親睦例会を開催しました。

会長挨拶

2019年度会長 入川 信夫

本日の例会ですが、交流会であります。交流会は横のつながりを広げるのはもとより、これまで親しんできた仲間と親睦を深めるのも一つの理由ではありますが、それともうひとつ得られるものがあります。それは信頼であります。こうした交流会、親睦会、懇親会を通じ、本気で話し合うことで信頼を得られるのだと思います。皆さんは、大事な仕事を誰かに依頼する時、その人を信用してからお願いすると思います。本日の懇親会では、そういったことも少し意識していただきながら参加してもらいたいと思います。まずは、本日の4月例会を皆さんで楽しんでいきましょう。



バーベキューということもあり、普段着での参加です。

BBQ、ビンゴ大会

すこし肌寒い中、炭火のBBQコンロの熱がメンバーの心と体を温めていき、会場は盛り上がり行きました。伊木山ガーデンで用意して頂いたおいしいお肉に、メンバーの箸も進みます。

そして会で最高の盛り上がりを見せたのが、豪華景品が当たるビンゴ大会！目玉の景品は、NINTENDOスイッチとダイソン掃除機！！



高濱歩さんと福田直樹副会長の進行で、ビンゴは大盛況！

「ビンゴ！」の声とともに第2段階のくじ引き挑戦者が現れるも、当たるのはティッシュばかり…。そんな中、見事に豪華景品を引き当てたのは、森下謙一さん（ダイソン）と森誠治さん（スイッチ）！豪華景品の中には、次年度・次々年度の「役員の鍵」が入っているそうです！いろいろおめでとうございます！！



早くも次年度役員決定？

新しい試み

今回の例会では、事前にとった飲酒・喫煙のアンケートを元に、アルコール類を登録料とは別に有料化するなどの設営をしました。変わっていくもの、変わらないものを見定めていく必要があるかもしれませんね。

2019年度 出向者報告



県連・広報委員会

大野智也 (広報・渉外委員会)

本年度、愛知県連の広報委員会に出向しています。3月の終わりに、大府市で開催された委員会へ参加してきました。出向参加者もかなり多いということで終始なごやかムード。懇親会にも参加し、何人かの方とは、より親睦を深められたと思います。皆さんが、少しずつ助け合いながら会が成立しているのを感じることができました。4月の委員会は、単会とかぶってしまったので不参加になってしまうのが残念！

広報委員会の役割ですが、

1. 情報発信（ホームページの更新）
2. 翔生愛知の発行
3. 愛知県YEGDAYへ向けた広報キャラバン活動
4. 愛知県YEGDAY広報委員会としての担当分科会 企画・運営

以上4つが主なものになります。

ホームページやフェイスブックの更新の権限もいただいております、地域の催事やイベント・まつり等々を情報発信して欲しいとのことですので、地域の熱い情報を教えていただけると非常に助かります。ご協力よろしくお願いいたします！！



愛知県商工会議所青年部連合会
ホームページ
<http://www.aichi-yeg.com>



愛知県商工会議所青年部連合会
facebookページ
<https://www.facebook.com/aichi.yeg>



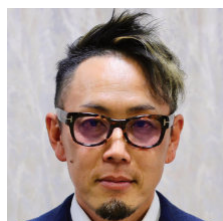
委員会メンバーと。1年間頑張ります！

案内：6月体験事業

場所：魚道(ギョドウ)クライミングジム 2
愛知県一宮市水附町43-1
TEL 0586-85-8876

日時：6月18日(火) 19:00～21:00

担当：総務委員会



ボルダリングを体験していただき、メンバーが勇気を持って手を伸ばし、達成感を共有し、挑戦する意味を再確認するきっかけとしていただきたいと思います。

委員長 原園猛

※動きやすい服装にてご参加ください。タオル、靴下をご準備下さい。シューズは貸出致します。駐車場には限りがありますので、乗り合わせにてご来場下さい。

出欠席の回答は

6月7日(金)までに必ず

事務局(小松)へ御連絡下さい。

案内：7月家族例会

場所：八曾の里
岐阜県多治見市北小木町332

日時：7月28日(日) 10:00～15:00

担当：研修親睦委員会

**7月28日(日)は、
家族で参加！
予定に入れて下さい！**



**出欠席、登録料等の詳細は、
あらためてご案内します。**

facebook (会員限定) にて写真・動画の活動報告をしています。
登録方法は担当鈴木馨または各委員長まで

ONE UP! 5月号 発行日：2019年5月21日 (毎月第3火曜日)

担当記者：鈴木馨、佐藤 浩章

編集・発行 江南商工会議所青年部 広報・渉外委員会
〒483-8223 江南市古知野町小金 112
tel.0587-55-6245 fax.0587-54-9141
URL <http://www.konan-yeg.com/>

ひびつづ 日々を綴る

仕事、家庭、趣味、e t c...

江南Y E Gメンバーの自由なエッセイ

エッセイの投稿を募集しております（タイトル、文章500字以内、写真1枚とそのコメント1行）

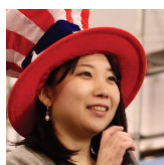


ホールド92 ～あり得ない有り難さ～

磯村 聡将（未来創造委員会）

8～9年ほど前の40才を過ぎた頃に、それまで言葉では方便として言うことはあっても実際には考えることなどなかった「ご恩返し」を意識するようになりました。もちろんここで言う恩返しの対象は、give & takeのような少なからず利害の伴う特定の相手に対してのことではなく、両親や世間や社会といった自分の命の本となる存在や人として生きる中で恩恵に気づきにくい環境そのものを指します。そう思うようになったのは「盲亀浮木の譬え」を知ってからです。約2,500年前、お釈迦様が弟子の阿難に説いた話で、我々が人間に生まれてくる確率の“あり得なさ”を表現するものでありました。釈尊は「百年に一度だけ大海の底から海上に浮かび上がる一匹の目の見えない亀が、その頭をたまたま海に浮いている一本の流木の真ん中に空いているひとつの穴に突っ込むことがあるだろう

か」と尋ねた際、阿難は「そんなことは毛頭考えられない」と返したところ、釈尊が「でもあり得なくはない。だが人間に生まれるということはこの譬えよりももっとあり得ない有り難いこと」と説いたと・・・私はこれを聞き衝撃を受けたと同時に、あまりの有り難さに感謝の気持ちと喜びが自然に沸いてきたのです。それまでの自分は、上手くいかない時は他人や環境のせいにして愚痴を溢すことが多く、また損だの得だのとモノや金銭に執着し過ぎて自分の存在意義の尊さに気づいていませんでした。今ではその尊さを忘れることのないよう「亀・頭・突っ込む」の3ワードを毎日黙念し、何気ないと思いがちな日常の有り難さを十分に噛みしめ過ごしています。自分は生まれてきたことが既に“いただいた状態”なんだと思うことで自然に感謝の気持ちに溢れ、日々の生活やお仕事の中で「何か返すこと」に前向きに取り組めている気がします。今年の9月2日で50才を迎えますが、毎年その日を“あり得ない有り難い日”として感謝の気持ちをより高く一定の状態でしっかりと維持固定、いわゆるホールドするよう自身の誕生日を「ホールド92」と名付け結びといたします。



大切な存在

高濱 歩（交流結束委員会）

レミオロメンの「3月9日」という曲をご存知でしょうか？この曲のタイトルである「3月9日」は私の日々を綴る中で欠かせない存在である愛猫、リズの命日となりました。

今の仕事を始めたころは、それまで想像もしていなかった「起業」をするということに夢中になり、仲間たちと一緒に仕事をして、夢を語り合うことが楽しくて仕方がありませんでした。1年2年と経過していく中で見通しの甘さや準備不足などを痛感し、上手くいかない時期が続いたこともあり精神的に追いつめられていたこともありますが、不思議と起業したことを後悔したことはありません。

そんな中で、今まで感じたことのない重圧やストレスを癒してくれていたのは間違いなくリズでした。リズとの出会いは17年前、生まれたばかりの子猫を引き取ることになり、自宅に到着を待つ私はその子猫を家族の誰よりも先に触らせてもらいました。見知らぬ場所や人におびえていたのでしょうか。手のひらに乗る小さな体から脈打つ鼓動と震えを今でも鮮明に覚えています。人生の半分以上をともに生きてきたリズとの別れはつらく悲しいことでしたが、幸いにも病気や怪我をすることもなく、天命を全うできたのだと信じています。～瞳を閉じればあなたがまぶたのうらにいて どれほど強くなれたでしょう あなたにとって私もそうでありたい～



大学入試の今

阿部 栄司（広報渉外委員会）

昨年の入会のご挨拶でもお話ししましたが、前職は某私立大学で主に入試責任者をしており、大学入試というものを深く勉強し実務をこなして参りました。この場をお借りしてお子様が今後大学を目指す方に少しでも役に立つ情報をお届けしたいと思います。

少子化で大学の全入時代が来ると言われていますが、地方不人気大学の話であって愛知県の大学はここ数年難化してきています。そして暫くその傾向が続きます。「愛知県18歳人口横ばい」「地元志向が強いエリア」「各大学入学定員の厳格化」「進学校の安全志向」以上が主な理由です。

そんな中、国公立大学では多様な人材を入学させる

との名目で推薦入試やAO入試を増やしています。名古屋大学でも350名以上の推薦枠を設けています。地方国公立大学になるとさらに多くの推薦枠を持っています。私立大学においては定員の半数を推薦入試で獲得します。そして一般入試と違ってAO推薦入試は高校の推薦書や調査書の評定平均（内申点）が可否に必要となります。

もうお分かりかと思いますが推薦入試を狙いに行きましょう。そのためには評定値（内申点）を上げることが肝要です。どう上げるかを考えてみてください。また推薦入試を嫌う高校に対して保護者から早めに推薦受験意向のアプローチをすることも重要です。公立高校より私立高校はいろいろ融通が・・・モゴモゴ。ああ、紙面の都合で本日はここまで！

